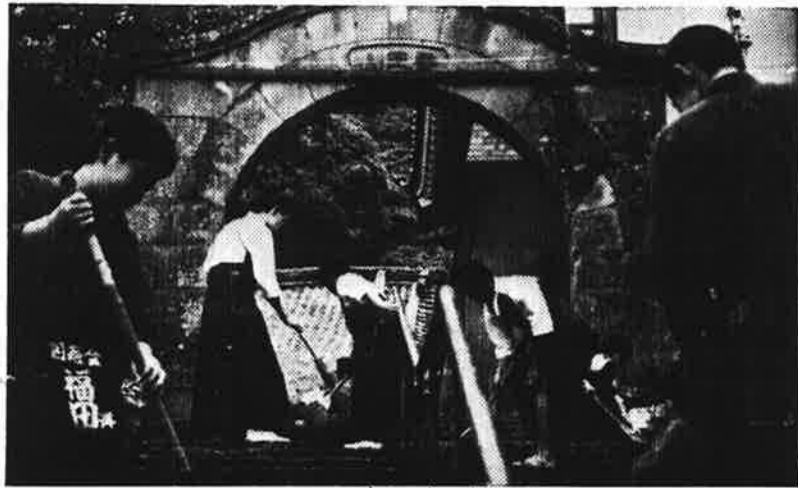


大作戦



境内の掃除をする剣志会の皆人

まんがだより

発行所
養護老人ホーム
延命園
長崎市寺町32
(0959) 22-8563
(題字) 池田可實姓



去る七月八日、上長崎剣志会、桜馬場校区こどもをまもる母の会、鶴鳴インターアクトクラブの三つの団体、約七十人が延命園を訪れ、延命園の内外の清掃大作戦が行われた。

上長崎剣志会は、豆剣志から中学生まで約四五人が剣道着姿もリリしく廊下の水ぶき、石段の清掃を行い、鶴鳴インターアクトクラブの皆さんは食堂のタタミ拭き、母の会のお母さん方は剣志会のごも達のフイロとそれぞれ行い、汗だくになりました。

作業のあとはお年寄りも加わり母の会の皆さんの歌

生活委員会

生活委員会の目的は、初

当延命園において、この度生活委員会を充足する事に成りました。そのことに就いて委員を選出するにあたり投票の結果、三人が選ばれました。副委員長には小林ハルさん、松本ユキさん、委員長は

心算が何も分からないのにすることなりました。幸にして副委員長の御二人がしつかりして居られますので、心強く思います。選ばれた方には誠意をもつて忠実に任務を遂行いたし、たいと思いますので、副委

めでの事で私共全く分かります。当園の職員さんの方で書類にして頂き職員さんの御指導のもとで皆さんと共に話し、各人少しでも明るい親睦の念に成ります様、御協力をお願いいたします。

剣志会の広瀬館長の勇気な「じよんがら三味線」を堪能しました。じよんがら三味線は初めてとあって、お年寄りももちろん、ボランティアの皆さんは、身を乗りだして聞き入りました。うつとおしい梅雨空も、吹き飛ばすような一日でした。

ダンス

また、やつてまいりました。延命園恒例「夏休み、盆踊り大会」は、昨年は、盆踊り前日までの雨の為、足場が悪かったの

とでも楽しんでいたり、自分分は踊れなくても、皆が楽しんで踊っているのを見たり、様々なんです。



さて、今年の日程ですが、八月二十二日(火)午後六時四十分、延命寺境内にて行われます。残念なことに、雨天の場合中止になりそうですので、よろしくお願

寄りも、足の悪い方などは外出もしづら、ので、子供達や、来園して下さるご近所の方々のおしゃべりを

なりました。お年寄りも、足の悪い方などは外出もしづら、ので、子供達や、来園して下さるご近所の方々のおしゃべりを

子ども映画会

平成元年度、第一回「子供映画会」は、お母様方や子供達が多数参加して下さい。おかげで、今までの中で一番参加者が多い映画会となりました。今までは、劇画を必ず一本入れて上映し

ていまして、今年もアニメーションが主です。さすがに子供達には好評だった様です。第二回上映予定は八月二十四日(金)、午後二時から、延命園三階、集會室来て下さいね!



ドライブは行な

六月六日、大村公園へ昔の花を鑑に出かけました。シーズンとあって公園はかなりの人出で賑わっていました。折からの日射しで花が少し元気がないのが気になりましたが、無数の花が咲き誇る様子は見事なものでした。昼食はふじ棚の下で大村弄しを戴き、思い鬼の散策を楽しみました。

六月十九日、京泊にある湯楽園を訪れ温泉(露天)で体をほぐし、なつかしいお芝居を観る事ができました。歩行が困難で参加をためらっていたSさんが、芝居をみながら心奮い起ける様子に、私たち職員は嬉しくなりました。

居室清掃

毎月二十日前後は居室清掃の日を設けて、日頃忘れがちな押し入れの整理、下駄箱の整理、各居室とトイレのナースコールの点検を行なっています。また、ナースコールが作動しないことが判ったりして、とても大事な行事のひとつです。五月は下駄箱の整理整頓を重点に行ないました。八月には、タタイル・ふきんを清潔に、を目標に取り組み予定にしております。



おしゃべりシンフォニー

〇酒井時雄(82才)
運動に外へ出るこ。何も行事のなかとときは、二回出ます。今では、走れることになりました。

〇財前フサ子(86才)
毎朝、毎夕のお参りはかかずします。手洗器の皿洗いががんばって行なっています。

〇今村五郎(66才)
健康の本は読んで、病気に対して自分なりの手当べしよる。頭を使ふことは、やっぱり駄目の二たる。

〇赤赤ト三(82才)
何でも食べるこし。何かおやつちゃんちゃん嫌わん。妹と会うとも、元気のひとつになつとる。

新入園者紹介

- 榎原ユキさん(74才)
- 柴原ヨウさん(81才)
- 取田チヨ子さん(79才)
- 小森ミツ子さん(64才)
- 前山チヨ子さん(79才)

イメージが一変した 校外学習

医師会看護専門学校 ホームを訪れる

去る六月二三日、長崎市
医師会看護専門学校生六十
名が、当園を訪れました。

明、老人ホームの歴史など
を聞き、それぞれの居室を
訪れました。お菓子のアレ
セントや、湯のみのプレゼ

延命園を訪れて

松本 豊

延命園を訪れてまず思っ
たことは、私が想像して居
たとはまったく異なって、元
気な方々ばかりが住んで
おられたことでした。

私がいった三〇八号室では、
品の良い小柄のおばあさん
が、ちょこんと座って出迎
えて下さり、とてもうれし
そうに、自分の方から積極
的に話をして下さいました。
はじめ、緊張してたけど次
第にうちとけ、いろいろな
話をしました。まず、自分
は背中の骨が悪くて、つい
最近病院を退院してきたこ
と、若い頃のこと...とほこ
んどが、おばあさんの話に
ウンウンとうなづいていま
した。また、このおばあさ
んは、俳句や詩を書くのが
好きだとかで、ノートにび
しりと書きとめられたもの
を「ここ読んでみて」とい

ントのあと、お年寄り
と話し会いました。波長が
合って話し込むグループが
何となくできていきかと思
って黙りこんでしまおう
グループ、はじける様な笑
い声が開けるグループ...
沢山の生徒さんからお寄
られたレポートの中から松
本さんの分を紹介します。

おばあさんの言葉の中に、
「よく看護婦になろうと思
たわ。偉いよ。大変だろう
頑張ってね」とあったのが、
とても印象に残っています。
この日のことを忘れずに、
この言葉を励みに、毎日頑
張っていかうと思います。

た具合に、まるで私達と同
じような感覚で接してくだ
さったのは、本当にうれ
しかったです。なんだか、
若い頃の気持ちのまま今に
至っているふうな感じで、
かわいらしいおばあさんで
した。七十九歳という年の
割には、しっかりした話か
うまい素敵な方でした。私
が今まで想像していた老人
ホームというところ、わけが
家族と一緒に住めず、寂
しく暮らしているかわいそ
うな人が住んでいるという
イメージがありました。が、
今日の訪問によって一変し
て変わりました。こういう
機会をもっと増やして、お
年寄りとの交流を深めてい
くべきだと思います。一年
に一回ではなく、月に一度
ぐらいはこんな校外学習が
あれば、お年寄りに対する
私達の見方も変わり、今後
の勉強になるのではないで
しょうか。

「延命園を訪問して」 鶴鳴女子高等学校インテ ィアクラブ

私達が延命園に向かうよ
うになって、早くも一年以上
が経ちました。最初の頃は
何をしていたのか分からず、
頼まれた事をして帰った時
間で各部屋を廻り、お茶を
飲んでおしゃべりの方のお相手
をしていました。でも、私
達の身近に親父母がいない
者には何を話していいの
か分からず、ただその場に
ポツンと座っているだけの
ような状態が浮かんできま
した。そんな昼の日差しの
ように暖かくて来かい笑顔
も、昭和五七年八月六日
で永遠に見えなくなってい
まいました。私が初めて頂
いた給料で買ってあげた草
履を形見に、残して...

延命園の皆さんへ 散髪ボランティア

私が、延命園にお伺いす
るようになってから数々が
経ちます。小さい頃から祖
母に育てられたせいもあり
てか皆さんの笑顔を見ると
懐かしさを覚えます。これ
も今まで続けてこれた一
つの理由ではないかと思いま
す。そして私の奥に大切に
しまっておいた「昭和五七
年四月九日」消印の一通の
手紙を読み返してみたくな
りました。私が実家を離れ
た頃、祖母から送られたも
のです。平仮名の多い、た
どたどしい文字の中で「立
ち仕事で足が疲れるだろう
ね」と足の不自由な祖母が
心配してくれたことを、再
び知らされ胸が熱くなりま
した。それから買物カゴを
後ろへまわし、足を気にし
ながら歩く様子を曲げた祖母
の後ろ姿を見かけ懐しくな
り、駆け寄りた幼い私を包
み

週日は本当に有難う御座
りました。長い入院生活を
過ごした私に一番嬉しがつ
たのは優しいお年寄りの一
言でした。尊い聖職につか
れられ老人や病人に貴女様
のその明るい笑顔とその言
葉が、どれほど嬉しく励ま
しになるか、どうか立派な
看護婦さんになられます様
をお祈り申し上げます。優し
い笑顔もう一度お逢いした
いです。



来訪者の 皆さん

- 一三〇日 増田水産 様
- 一九日 散髪ボランティア 様
- 二三日 市医師会看護学校 様
- 一三〇日 増田水産 様
- 一九日 散髪ボランティア 様
- 二三日 市医師会看護学校 様

- 八日 中山身語正宗 様
- 九日 長崎物語 様
- 十四日 秋田県看護老人ホ
ーム・樹園 様
- 二七日 鶴鳴インターア
ク 様
- 二八日 古町教会 様
- 二九日 散髪ボランティア
 様
- 三一日 ビニーホテル 様
- 十日 鶴鳴インターア
ク 様

数年、箱根での
福祉実母研修会参加
時、各地のチャー
ンクな実母さんと出
逢った。
うさんもそのなかの
ひとり、飾らな
い人柄と相手を包み
こむやさしさに惹かれると
ころが多かった。
介護、社会福祉士制度の
発足に伴い、このほど兩
福祉士が誕生した。国家試
験が難関だったと聞くたび
にうさんの包みこむような
やさしさを思い出す。(NM)

